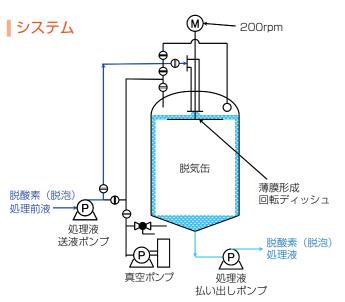
回転ディッシュ式ディアレーター



真空状態の脱気缶に処理液を薄膜状に分散するよう、 薄膜形成回転ディッシュを設け、これにより高粘度液 でも脱気・脱泡できるシステムです。

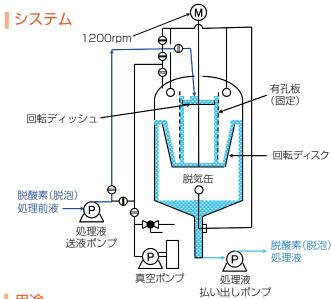
性能

主に高粘度液の脱泡に用います。

処理液

20000mPa·s以下の粘度の処理液を処理すること ができ、さのうやゴマなどの小さな固形物を含む処理 液も処理することができます。

回転ディスク式ディアレーター



高粘度液の脱気・脱泡に主に用いられますが、特に高 い性能が要求されるケースに用います。また、分解手 洗浄可能なスペックの1000L/hr以下のケースや装置 洗浄の必要ない処理液のケースに主に用います。

真空状態の脱気缶に1200rpmと高速で回転する回転 ディッシュと回転ディスク、有孔板を設け、処理液を 強力にせん断したり強制的に非常に薄い膜を形成させ たりしつつ滞留時間を長くして脱気・脱泡を行うシス テムです。

回転体を1200rpmで回転させて、水を処理した場合 で処理後の溶存酸素量を1mg/L以下に、2500mPa sの粘性液(CMC)を処理した場合で処理後の溶存 酸素量を2mg/L以下に低下させることができます。

20000mPa·s以下の粘度の処理液を処理すること ができます。回転体の回転数を落とすことにより、さ のうやゴマなどの小さな固形物を含む処理液も処理す ることができます。

■システムオプション

● N2インジェクション

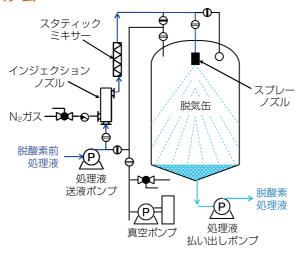
低粘度液で高い脱酸素効果を求めるケースに適しています。N₂ガスストリッピングと真空による脱気を併用する ことにより、非常に高い脱酸素性能を発揮いたします。ただし、発泡性のある液には適しません。

●アロマ回収

フレーバーの飛散を防止したいケースや回収したアロマを有効利用するケース、強力な脱臭が必要なケース、溶 剤等を除去するケースでの適用となります。

Naインジェクション (オプション)

| システム



処理液送液配管にN2ガスを吹き込むインジェクション ノズルと処理液とN2ガスを混合するスタティックミキ サーを設け、真空脱気とストリッピングを併用したデ ィアレーターとなります。

性能

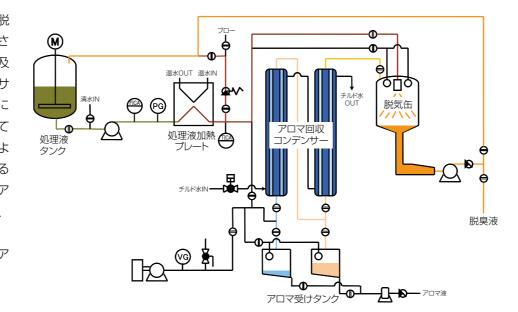
30mPa·s以下の粘度のチルド状態の処理液の溶存酸 素量を最高でO.1mg/L以下にすることができます。

脱酸素性能が非常に高いという点が挙げられます。

アロマ回収ディアレーター (オプション)

処理液を事前に加温しておき、脱 気缶内で処理液をフラッシュさ せ、蒸発した水分とフレーバー及 び溶剤等をアロマ回収コンデンサ ー (SSTチューブ式熱交換器) に より冷却・凝縮し、水溶液として 回収するシステムです。これによ り、ディアレーターの真空による フレーバー飛散の問題解決からア □マの有効利用、溶剤等の除去、 強力な脱臭まで可能です。

右の図は噴霧式アロマ回収ディア レーターのシステムの例です。



http://www.izumifood.shi.co.jp

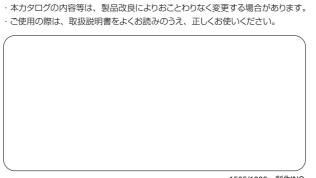
社 〒661-8510 兵庫県尼崎市潮江4-2-30 テクノセンター TEL.(06)6718-6150代 FAX.(06)6718-6151

東日本支社 〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 25F TEL.(03)6737-2670代 FAX.(03)6866-5125

西日本支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-33 大阪三井物産ビル10F TEL.(06)7635-3688代 FAX.(06)7711-5127 札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西4-6-8 住友成泉札幌大通ビル9F

TEL.(011)241-5525代 FAX.(011)222-2950 九州営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-6-20 明治安田生命福岡ビル3F

TEL.(092)291-1151代 FAX.(092)291-1152 淡路工場 〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田552-1 TEL. (0799) 45-1121 (代) FAX. (0799) 45-1128



1505/1000 制作ING



MULTIPURPOSE DEAERATOR

多機能ディアレーターシリーズ SERIES

飲料から化学までフレキシブルに対応





イズミフードマシナリの

脱気・脱泡&アロマ回収技術―飲料から化学まで

食品を変質・劣化させる大きな原因のひとつに酸化があります。

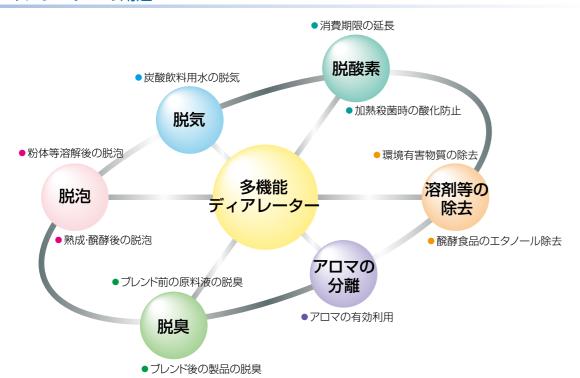
賞味期限の延長や製品品質の差別化が当然の如く要求される現在、この酸化による劣化に対して、添加物(酸化防止剤等)に依存しない脱酸素技術の有効性が注目されております。

そこで、お客様のご要望に応えられるよう、当社は装置メーカーとして培った脱気&脱泡技術を基に、 機器単体のみならず、ディアレーターのシステムとしてご提案させていただきます。

また、ディアレーターの宿命として、フレーバーの飛散の問題がありますが、それを解決できるよう、 アロマ回収機能を備えたシステムもそろえております。

当社はディアレーターのご提供とともに、多用な用途に応じたシステムをご提案させていただきます。

●多機能ディアレーターの用途



●多機能ディアレーターのラインナップ

脱気(脱酸素)性能は処理後の溶存酸素量にて評価されます。以下の図は多機能ディアレーターの各システムの処理可能な物性と水を処理した場合の処理後の溶存酸素量をまとめたものです。処理液の物性や要求される脱気性能に応じて最適なシステムを選択することが可能となっています。



*図中の橙色の矢印(→)は処理液の粘度のレベルを、青色の矢印(→)は水を処理した場合の処理後の溶存酸素量のレベルを示しております。 また、噴霧式ディアレーターでは固形物を含む処理液を処理できません。

噴霧式ディアレーター (特許出願中)

システム 脱酸素前 処理液 送液ポンプ 真空ポンプ 処理液 払い出しポンプ

概要

真空状態の脱気缶に処理液を液滴状に噴霧することにより、処理液の単位体積当りの気液界面積を大きくして瞬時に脱気するシステムです。

性能

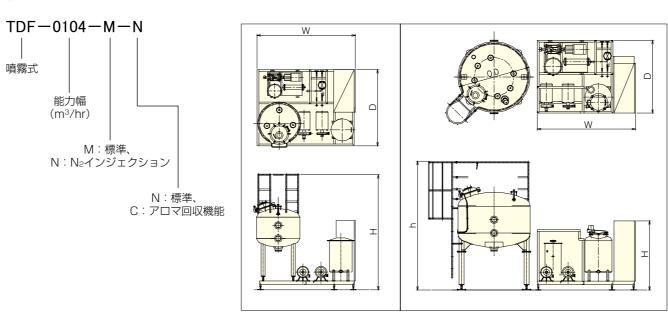
30mPa・s以下の粘度のチルド状態の処理液の溶存酸素量を2mg/L以下にすることができます。

特長

スプレーノズルから噴霧した瞬間に脱気するため、脱 気缶内での発泡の問題が生じにくいという点が挙げら れます。

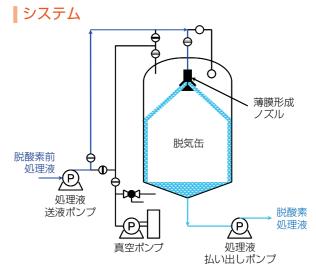
■型式と寸法・ユーティリティー (標準型の代表例)

●脱気装置型式表示



型式		TDF0104	TDF0409 TDF0915		TDF1525	
能力 (L/hr)		1000~4000	4000~9000	9000~15000	15000~25000	
ユニット寸法	W (mm)	2500	2800	2700	2800	
	D (mm)	2000	2200	2000	2100	
	H (mm)	3200	3300	2000	2000	
脱気缶寸法	OD (mm)	800	1200	1800	2000	
170X4H 17H	h (mm)	3600	3700			
	チルド水 (L/hr)	1000	1500	2000	3000	
ユーティリティー	処理水 (L/hr)	100	100	100	100	
<u> </u>	エアー (L/min)	100	100	100	100	
	電気 (kW)	7	10	13	19	
脱気缶配置		ユニット内	ユニット内	別置き	別置き	

薄膜流下式ディアレーター



■概要

真空状態の脱気缶に処理液を薄膜状に分散することに より脱気するシステムです。

性負

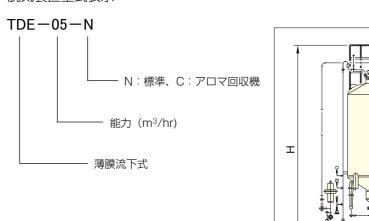
常温の処理液の飲料等の溶存酸素量を3mg/L以下にすることができます。

処理液

800mPa・s以下の粘度の処理液を処理することができ、さのうやゴマなどの小さな固形物を含む処理液も処理することができます。

■型式と寸法・ユーティリティー (標準型の代表例)

●脱気装置型式表示



型式		TDE01	TDE05	TDE10	TDE15	TDE20	TDE30	TDE40
能力(L/hr)		1000	5000	10000	15000	20000	30000	40000
装置寸法	W (mm)	1000	1000	1500	2000	2000	2000	2000
	D (mm)	1500	2000	2800	2800	3000	3000	3000
	H (mm)	3700	3700	4500	4500	4700	5500	5500
ユーティリティー	冷却水 (L/hr)	600	700	800	1000	1000	1000	1000
	エアー (L/min)	10	10	20	20	20	30	30
	電気 (kW)	4.5	6	11.5	15	17	22	22